

第一回館山市議会议定例会會議錄（第四号）

昭和五十八年三月十五日（火曜日）午前十時

館山市役所議場

出席議員 二十三名

一番 神田 守 隆

四番 横 溝 功

七番 古 賀 礼四郎

九番 松 下 正 己

一二番 栗 原 一 雄

一四番 渡 辺 昭 夫

一七番 黒 川 平 治

一九番 石 井 輝 久

二一番 吉 田 勇 治郎

二四番 和 田 一 郎

二六番 伊 賀 多 朗

二九番 安 西 益 男

欠席議員 三名

二三番 菊 井 敏 博

三〇番 山 口 康

出席説明員

第一号に同じ

出席事務局職員

第一号に同じ

議事日程（第四号）

昭和五十八年三月十五日午前十時開議

議案第三号 昭和五十八年度館山市一般会計予算

議案第四号 昭和五十八年度館山市国民健康保険特別

会計予算

議案第五号 昭和五十八年度館山市老人保健特別会計

予算

議案第六号 昭和五十八年度館山市と畜場特別会計予

算

日程第一
議案第七号 昭和五十八年度館山市ユースホステル特

別会計予算

議案第八号 昭和五十八年度館山市学童災害共済事業

特別会計予算

議案第九号 昭和五十八年度館山市水道事業特別会計

予算

議案第十号 昭和五十八年度館山市国民宿舍事業特別

会計予算

開 議 午前十時一分開議

○議長（林 豊君） 本日の出席議員数二十二名、これより第一回

市議会定例会第四日の会議を開会し、直ちに本日の会議を開きま

す。

本日の議事は、お手元に配付の日程表により行います。

議 案 の 上 程

○議長（林 豊君） 日程第一、議案第三号ないし議案第十号昭和五十八年度館山市一般会計予算及び特別会計予算を一括して議題といたします。

質 疑 応 答

○議長（林 豊君） これより質疑に入ります。

通告がありますので発言を許します。

一番議員神田守隆君御登壇願います。

（一番議員神田守隆君登壇）

○一番（神田守隆君） 昭和五十八年度館山市予算につきまして通告いたしました諸点につきまして御質問をいたします。

私の質問は予算事項別明細書に沿って行います。

二五ページであります。まず、個人市民税が対前年比で四・四％の増となっております。この課税の見込みにつきまして、昨年度は人事院勧告の凍結などのために給与所得者いわゆるサラリーマンの収入が抑えられたというような経過もあるわけで、こうした中で個人市民税のアップというものの見通しがどういう根拠なのか、この算定についての御説明をいただきたいと思うわけであります。

次に、固定資産税対前年比で七・八％というよう大幅な増になっているわけですが、この増税の理由について、どういうことからこうした増税となっておるのか、御説明を願いたいと思います。

次に、二七ページの国有提供施設等所在市町村助成交付金ですが、これがいわゆる基地交付金ですが、三百万円の減となっているわけがあります。これまでの説明等では土地あるいは構築物等の評価を基礎にこうした交付金が交付されているというふうに理解をしておるわけで、こうした減額というようなことはどうい

ことから減額というような予算を組んだのか、お聞かせを願いたいと思います。

次に、同じく二七ページの地方交付税一億三千八百六十万円の対前年比減ということで、昨年当初の予算に比べしても八・九％の減ということで大幅な落ち込みとなっているわけであります。国の地方財政計画では地方交付税については四・九％の減ということで見込みが立てられているわけでありますが、当市の落ち込みはそうした国全体の計画と比べてもきわめて落ち込みが大きいと思うわけで、何か特別の理由があるのかどうか、お聞かせを願いたいと思うわけであります。

次に、二八ページ民生費の負担金ということで児童福祉施設負担金これが計上されておりますが、これはいわゆる保育園の父母負担にかかわる問題であります。対前年比で八％の増になっておりますが、保育園保育料の値上げが予定されておるのかどうか。その値上げの率があるとすれば幾らなのか。

次に、寄付金についてであります。七百三十万二千円が計上されておりますが、この寄付金の内容についての御説明をお願いしたいと思います。またこれまで防火貯水槽や、あるいは道路舗装などの際のいわゆる地元の寄付金については段階的にその解消を図るとしてきましたが、この点今年度はどのようになされるおつもりなのか、お聞かせを願いたいと思います。

次に、歳出であります。四九ページ市長交際費として四百五十万円が計上されておりますが、その積算の内訳についてお聞かせを願いたいと思います。また当館山市と同規模の他市の状況について大体どのようになっているのか、お聞かせを願いたいと思

ます。

次に、一二四ページ都市下水路についてであります。本年は一億四千五百二十九万九千円と予算を大幅にふやし、その対策を進めようとしているわけですが、この都市下水路対策の問題は市民生活上きわめて重要な問題だと思います。市内には依然としてちょっとした雨ですぐに道路が冠水してしまいうたか、あるいは床下、庭先に水が入るといふようなところが大変多いわけでありまして、本年度予算説明書の一七ページを見ましても、計画の内容はそれなりにわかるわけですが、こうしたことをやった結果、どこかの地域の排水問題が解決するのか、もう少し具体的な御説明をお願いしたいと思うわけでありまして、さらにこうした事業については継続的に実施していかなければならないと思うわけですが、向こう三年間の根幹事業実施計画によるものについてどのようになっておるのか、もう少し具体的な御説明をお願いしたいと思うわけでありまして。

次に、一三〇ページであります。消防施設費として防火水槽の建設工事についてであります。五十八年度は、予算説明書によりますと有蓋二基、無蓋二基をつくることとありますが、具体的にどこどこにつくるのか。今年に入ってから火事が大変に多いように思うわけでありまして。市民の生命、財産、安全を守るといふような点からしても大変に重要な分野だと思います。防火水槽の建設が当面緊急に必要と思われるような地区、現在そうした防火水槽のないような地区これは全市のにはどのぐらいあるというふうに当局は理解しているのか、お聞かせ願いたいと思うわけでありまして。

一四四ページ幼稚園の建設費についてであります。根幹事業実施計画によれば、五十八年度から五十九年度の二カ年で那古幼稚園の防音改築ということが計画に上っておりますが、本年度の予算書の中では全く予算が計上されておりません。五十八年度については那古の幼稚園建設の問題については何もなされないのか、御説明をお願いしたいと思います。

次に、国保会計に移ります。一七九ページ国保会計については一点お聞きしたいと思うわけですが、国保税が対前年比で三千五百七十七万七千円の減ということで予算が立てられているわけですが、大変に負担が重い税金として国保税があげられるわけです。現実的に減税処置を本年度は考えておるのかどうかこの点についてお聞かせをお願いしたいと思うわけでありまして。

以上、答弁によりまして再質疑をさせていただきます。

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 神田議員の御質問にお答えをいたします。

まず、一般会計歳入についてでございますが、市民税の算定について御質問でございますが、個人市民税の積算につきましては昭和五十七年度予算は前年対比一四％の伸びで積算をいたしましたところ、最終調定実績は若干当初見込みを上回る予想でございます。昭和五十八年度予算の積算にあたりましては、給与所得者の伸びは大きくは期待できませんが、一方、税法改正による減額もない見込みでございますので、若干の税の伸びが予想されます。現在市民税申告事務をしておりますので、その集計ができますと税額がはっきりいたしますませんが、財源的に厳しい年であると思いますので、予想されるぎりぎりに積算したものでございます。

次に、固定資産税のふえた理由でございますが、固定資産税の現年課税分の調定見込み額は十二億三千四万九千円で、前年対比八・七％の増加でございます。内訳は土地八・七二％、家屋一・〇一％、償却資産五・五四％の増であります。土地につきましては田畑等の宅地化による増と、宅地の負担調整率による増が主なものであります。家屋につきましては新増築による増加分が主たるものであります。新増築件数は八百戸であります。償却資産の増加については第一に自治大臣配分の増、これは東京電力が主体でございます。第二に資産の買いかえ分これらが主なものでございます。

次に、国有提供施設等所在市町村助成交付金についての御質問でございますが、この交付金が減額になった理由は、市町村助成交付金は毎年国の予算で定める範囲内で交付することになっております。五十八年度の国の予算は前年度同額の二百億円が計上されておりますが、交付額の算定方法につきましては、主として市町村助成交付金の総額に相当する額を、各市町村の区域内に当該年の三月三十一日現在において所在する対象資産の価格の合算額に案分した額とされております。したがって、館山航空基地隊等の対象資産につきまして本年三月三十一日現在資産の増があればその伸びは見込めますが、仮りに台帳価格の修正があったとしても、他市町村に所在する基地に対象の資産増があれば前年度より減になると推測するのが妥当であると判断をいたしました。なお政令で定める交付額の決定についての違法または錯誤があった場合は承知いたしております。

次に、地方交付税についての御質問でございますが、御承知の

とおり経済の低迷により地方交付税の原資となる国税三税の減収に伴いまして、国が示した昭和五十八年度の地方財政計画では四千六百十五億円の減、対前年度当初比較でマイナス四・九％となっております。

このような背景の中で、本市におきましてもこの影響を受けることとなりますので、積算計上にあたりましては普通交付税にかかる単位費用の改正案、五十七年度に算入された船形小学校を初めとする義務教育施設建設にかかる事業量の皆減等を勘案いたしました。特に基準財政需要額にかかる法令の改正案による投資的経費の単位費用額は一〇％程度の減が予想されますので、これらを配慮いたしました結果、投資的経費で一億二千五百万余円の減収見込みとなり、基準財政収入額では市税の歳入見積み等から五・一％の伸びを見込みましたので、地方交付税としまして対前年度当初予算比較で一億三千八百六十万円の減、マイナス八・九％の十四億二千二百万円を積算計上いたしました。

次に、児童福祉施設負担金についてでございますが、保育所へ入所措置された児童の負担金は、国の基準に基づきまして扶養義務者の税負担の状況等により階層認定を行い、徴収金額につきましては国基準額の前年度を市基準額とし、保護者負担の軽減を図っております。昭和五十八年度におきましても同様に考えております。

次に、寄付金についてでございますが、予算計上いたしました七百三十万二千円の内訳といたしましては、奨学資金として二十万円、水産関係で五百七十九万円、消防関係で百三十一万二千円を予定しております。消防及び市道舗装寄付金につきましては、

従来からの地元任意寄付という経緯を踏まえまして、年次通減を実施しておりますが、今後におきましても全廃の方向で年次的に通減してまいりたいと考えております。

次に、一般会計歳出市長交際費についてでございますが、県下同規模市の交際費額でございますが、五十七年度当初予算といたしまして、人口五万人台で富津市四百五十万円、佐原市四百万円六万人台で四街道市四百四十万円となっております。そのほか参考申し上げますと、近隣の鴨川市が三万二千余人で四百五十万円、勝浦市が二万五千余人で五百五十万円このような状況でございます。

市長交際費の積算内容でございますが、交際費の性格上毎年若干の変動はございますが、過去の実績を踏まえて積算をいたすわけでございます。五十八年度は慶弔費として一三％、各種行事等の祝い金で一八％、会議等出席関係で一七％、来客接待に三六％その他で一六％以上のような内容になっております。

次に、都市下水路整備についての御質問でございますが、八幡都市下水路は五十六年度より国庫補助事業としてすでに九十二メートルの整備を終わり、五十八年度につきましては百二十メートル程度の整備を計画しております。現在、富士ディーゼル正門付近から上流にかけて雨水排水、家庭用雑排水等が滞留しておりますが、これは五十八年度の整備により解消されることとなります。引き続き六十年まで当初計画に基づいて整備をして生活環境の改善を図るよう計画しております。

次に、北条中央下水路は、五十七年度で実施いたしました基本計画に沿って五十八年度より下流部を百十メートル程度の整備を

予定しております。本年度で一部実施している市道一号線までは三、四年の期間がかかると思われます。この整備により床下浸水、道路冠水が解消されますと同時に市道の拡幅もあわせて行い住民の利便に供するよう計画しております。

次に、南町排水路は、県の地域排水路整備事業に採択され事業実施されることになりました。五十八年度で下流部の整備を百メートル程度予定しており、最終計画といたしましては六十一年度で中央保育園まで整備し、その他小規模排水路につきましては船形芝二号排水路を五十八年度で全体の測量設計を実施し、五十九年度より三カ年程度で事業の計画をしてまいります。また楠見排水路を五十七年度から三カ年計画で整備中であり、新塩場排水路につきましては単年度事業として整備いたしましたので、環境の保全のためさらに努力する考えでおります。

次に、防火水槽建設工事についての御質問でございますが、防火水槽建設工事につきましては船形二百七十番地及び沼千百七十六番地に有蓋貯水槽を、藤原二番地及び国分百十六番地の三に無蓋の貯水槽を予定したもので貯水槽四基の設置計画でございます。

次に、御質問の第二点の緊急に必要と思われるものはどれぐらいかという御質問でございますが、防火水槽、消火栓及びその他の水利から百メートル程度以上の距離を有し、かつ住宅が密集しております地域は市街地に十二カ所程度でございます。これが改善については消防団、地域住民とともに努力をいたしております。なお現在、機械力の強化と消防自動車の中継技術の向上により、万一の場合には数百メートルの距離からの水利を得て消火活動が可能でございます。

次に、那古幼稚園建設計画についての御質問でございますが、この件につきましては老朽化しておりますので防衛施設庁補助事業により改築を考えており、現在補助金の申請中でございます。

実施年度につきましては昭和五十八年度設計、昭和五十九年度改築を予定しております。予算につきましては防衛施設庁の設計補助金が内定した段階で補正予算をお願いしたいと考えております。

次に、国保会計でございますが、多年、懸案でありました老人保健法が実施され、昭和五十八年度は実質的初年度を迎えるわけでございますが、当館山市国保会計においては当初予算で前年より少ない国保税予算となりました。国保税につきましては毎年国保税の積算の基礎であります市民税、固定資産税の額が確定した段階で本算定をしてまいりました。本年も本算定時に国庫支出金その他の歳入、歳出を精査し、課税額を決定したいと思っております。減税するかどうかはその時点で十分検討したいと考えております。

以上、答弁を終わります。

○一番（神田守隆君） いわゆる基地交付金についてですが、国の予算が同額だから、したがってほかのところであえれば館山の案分では減る見込みだ。こういうお話だったわけですが、少しお聞きしたいんですけれども、館山の基地のいわゆる外周道路部分これは三年前の議会の中で、防衛施設庁が移管を得るというようなことをして、護岸及び道路の整備をするんだというような話だったわけで、そういうふうになるとすれば、それだけ資産がふえるわけですから基地の土地がふえるということになろうかと思うんですけれども、現在そのへんについてはどういうふうになっておるのか、もしそういうことになれば当然この助成交付金がふえて

しかるべきではなからうかというふうにも思うわけです。そのへんがどういうふうになっているか、お聞かせ願いたい。その一点だけ。

○総務部長（鶴岡卓樹君） 国有提供施設等所在市町村助成交付金についてお答えいたします。

御案内のように、この交付金は毎年度の国の予算の範囲内で定められておりまして、その配分につきましては国有財産台帳の価格で配分が決まります。五十一年の通達でございますが、それを見ますと、台帳は五年ごとに正式に改正をしないさい。そういうことで五十六年の三月三十一日に正式な改正となっております。

ちなみに、五十五年と五十六年度の当市の評価額を見ますと三六％の増でございます。前年度は五・八％。六％程度の評価でございますので、お尋ねの護岸の一部につきましては、たぶんこの五十六、七の中の一部かと思えます。つきましては総額決定がありますし、台帳価格をとれど、基準的な精算がございますので先ほど市長が御答弁申し上げましたように全体の割り振りの中の一部の議論がございます。

○一番（神田守隆君） 五十六年度に改定をして三六％ふえているが、五十八年度については台帳の価格についての調整は行われないんだという御説明だったと思うんですが、実際に土地の移管がえの問題は現時点ではどういうふうになっておるのか。防衛施設庁の所管になっておるのかどうか。護岸の改修及び道路の整備というような問題が、どういうふうな現時点では承知しておいたらいいか、お聞かせ願いたいと思えます。

○市長公室長（斉藤武男君） 土地の関係につきましては防衛庁の

方に移管されておりまして、現在すでに沖の島から当初は三年計画をもちまして護岸工事を実施していきたいというようなことで進めておるわけでございますけれども、それが若干工事の過程が長くなる。そういうふうに聞いております。

○ 一番（神田守隆君） これで終わりますけれども、三年計画ということは何年から何年で、そして二期工事が何年か。その一点だけお聞かせ願います。

○ 市長公室長（齊藤武男君） 三年計画といいますが、今年から三年計画で実施していきたいというような防衛の話があったわけでございますけれども、その後の状況が三年で一千メートルの工事が完了できないというような国の予算の関係がございまして、若干それが延びるような可能性になっておるわけでございます。

○ 議長（林 豊君） 以上で、一番議員君の質疑を終わります。

以上で、通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑はありませんか。

（二〇番議員石井武敏君登壇）

○ 二〇番（石井武敏君） 昭和五十八年度館山市予算に関する御質問を申し上げますが、質問は通告をしませんでしたが、あらかじめ各課に私が自分の質問の趣旨を通知してございまして、その通知をしてある私の質問の趣旨に従って順次質問をします。

歳入でございしますが、館山市予算書によりまして御質問を申し上げます。歳入の中で市民税、固定資産税、軽自動車税のそれぞれ徴収率が幾分かずつ低くなっております。さまざまな理由があるかと思いますが、徴収率をダウンさせた原因についてどのように状況を分析され、調査され、判断をされてこのようになり

ましたか、その徴収率の低くなった理由を御説明願いたいと思います。

二六ページの土地保有税についてでございますが、この点につきましても徴収率が同じく下っておりますので、その理由を説明してください。

それから、市のたばこ消費税につきまして、この予算書で見ると限り消費税の落ち込みは見られませんが、全国的にたばこ消費率が落ちていくというように見られておりますし、そういう傾向がありますので、当市のたばこ消費税の落ち込みは考えられないかどうか、そのへんを明らかにしていただきたいと思っております。

続きまして、歳出につきましての御質問でございますが、歳出につきましては昭和五十八年度予算説明資料によりまして御質問申し上げます。

まず、九ページの二款総務費の耐震性井戸付貯水装置設置事業についてでございます。私はこの事業が計画され、実施され、耐震性井戸付貯水装置はかなり整備されてきていることと思っております。今年度この事業が完成しますと給水能力はどのくらいになりますか。本年度の貯水装置の設置を含めまして、実際に使う場合の能力について御説明をいただきたいと思っております。

次に、交通安全施設整備事業についてでございます。ここには防護さく、道路反射鏡、道路照明等々内容が説明されておりますが、道路反射鏡、防護さく等は住民の要望する個所も非常に多いようでございます。また道路照明につきましても館山市の道路照明は非常に暗いということを常々私は感じておるものでございます。一つは設置の数が少ないこと、もう一つは照明するルクスが

低いということが原因であろうと思いますので、それぞれの工事の内訳、金額の内訳を説明していただきたいと思っています。

次に、一〇ページでございますが、四款衛生費の中に清掃事務所建設用地地質調査委託料と道路舗装工事の事業が載っております。地質調査はどのように行われるのか、道路舗装はどのような道路舗装を行うのか、いまいしく説明を加えてほしいというように思います。

一四ページでございますが、七款商工費の中にテニスコートを設置する事業がここに示されておりますが、これは当市が取り組む、当市が手を差し伸べる最初の新しい事業のように思います。特に三十四面という非常に広い土地を必要とする事業でございますし、大きな事業であると思います。またその効果も大きなものが期待できるというように考えておりますので、この設置しようとするコートの種類、さまざまな種類がコートにはあると思いますが、どの種類のコートを設置しようとするのか、説明をいただきたいと思っています。またこうしたテニスコートの維持管理は非常にいろいろの問題がある。問題があるというよりも手間ひまのかかるものになるうと思っています。こうした管理はどのようにお考えになっておられるのか、説明を補足していただきたいと思っています。

次に、一九ページの博物館施設整備事業でございますが、この事業の内容につきましてのおの本館工事、本館の施設の工事、備品購入費等々出ております。これらの内訳をいまいしく説明していただきたいと思っています。

なお、市民センター施設整備事業が載っておりますが、市民センターは大変活用されておりまして、市民になくはならない施設

になっておりますので、その重要性にかんがみまして御質問するわけでございますが、この内装改修工事の内容を示していただきたいというように思います。

続きまして、二〇ページでございますが、ここには各種団体の補助金が載っておりますが、防犯灯新設事業補助金、防犯協力会補助金が載っております。この防犯灯補助金につきまして少な過ぎるのではないかとこのように思いますので御質問するわけでございますが、この積算の根拠について説明を加えてほしいと思います。また防犯協力会につきましてはどのようにこの補助金が使われているか、御説明をいただきたいと思っています。

続きまして、二二ページでございますが、酪農振興事業の資金利子補給金がありますが、説明欄の中に飼育施設の設置をした場合に、この市の条例によって利子補給をするということになっておりますが、この中に畜産の飼育する場合の浄化槽を設置した場合の利子補給があるかどうか、説明を加えていただきたいと思えます。といいますのは、館山市の大切な海を守るために、あるいは河川の汚染を防止するために家畜のし尿の浄化というのは非常に大事ではないかというふうに思われます。現在、河川がよごれていく一つの原因になっている。いわゆるし尿のたれ流しがあるとすれば原因になっているようにも思われますので、この飼育施設の中に浄化槽が含まれているか、説明をしていただきたいと思っています。

続きまして、二四ページでございますが、館山市体育協会補助金が載っております。市の関係します体育行事というものが年々その広がりを見せ、市がかかわるいろいろな行事の数が増してお

ります。大変なことだろうと思いますが、その行事を円滑に運営するためにはいろいろの御苦労があると思います。私はこの補助金についていまいしくどのように行われるのか、この補助金が分けられて行事が行われるのか、ぜひ説明がほしいと思います。

次に、二六ページでございますが、敬老祝い金が載っております。四千円掛ける千五百二十人というふうに載っておりますが、敬老祝い金はおそらくお金として渡すのではなくて、敬老祝い品として渡すのではないかというふうに思います。今年度予定されております祝い品について何を予定されておりますか、お聞かせ願いたいと思います。といいますのは、敬老の意味からいいまでも、前年度からの対比から見ましても、祝い金として予算としては低いのではないか、もう少し上げていいのではないかという考えを私は持っておりますので御質問するわけでございますが、そうした考えを踏まえまして御答弁の方をお願いしたいと思います。

次に、二九ページでございますが、九款消防費の中に費用弁償が載っております。費用弁償を見てみますと火災の出動に対して支払われる、あるいは火災の警戒について、あるいは訓練について、あるいは技術整備点検について、操法技術についておののが費用弁償として支給されるものであらうと思いますが、これらの出動、警戒、訓練非常に大事なことであらうと思います。これが説明書では出動回数とか、警戒回数予想が載っておりますが、この回数につきましてももう少し説明を加えていただきたいというように考えます。

最後に、三三ページに館山若潮マラソン大会事業が載っております。

ます。このマラソン大会事業が年々充実をされていくということは大変好ましいことであると思いますので、説明書に載っておりますように本年度は参加予定選手が二千名の規模で開催するようになっております。現在のコースあるいは受け入れ体制で実際は参加予定数がどこまで収容できるか限度があると思いますが、また市が目標としている一つの参加予定数があると思います。このへんまで選手がきてくれれば非常に館山市としてもプラスになるというような一つの線があると思いますので、そうした考え方についてぜひお聞かせ願いたいと思います。

以上、御質問申し上げます。御答弁によりまして、また再質問いたしますが、よろしくお願いいたします。

○総務部長（鶴岡卓樹君） 市民税、固定資産税、軽自動車税につきまして前年より徴収率が低くなっている理由についてのお尋ねについてお答えいたします。

市税の徴収率につきましては過去三年間、今年とりました三カ年間は五十四から五十六年度まででございます。その現況を考えまして推計してございます。御指摘の軽自動車税まで前年よりも若干落ちてございます。三カ年間の平均を見ますと、市民税の場合には九八・二六、予算書上は九八・三と若干実績を伸ばしてございますが、予算を比較した場合は若干の微調整がございました。主な理由といたしましては長引く不況と冷夏、それから季節的な要因がございまして、倒産件数も若干ふえておりますし、業績不振となったケースが目立っております。そうしたことで徴収率の低下につながっていると考えております。担当としましては、徴収体制を充実しまして、徹底した納税相談なり、指導なりそういう

ことで御協力をいただきながら徴収率の向上を図りたいと、そういうふうに考えております。

土地保有税の徴収率のお尋ねについてお答え申し上げます。この税目につきましては、他の税目と比べてまして納税義務者数も数えることができます。現在六十二名でございますが、その状況を把握するにはほかの税目と違いまして容易でございます。そういうことで六十二名を精査した結果、結果的には徴収率が悪いんですが、精査して〇・九三〇としてございます。

それと、たばこ消費税の落ち込みのお尋ねにお答え申し上げます。消費税につきましては数年の実績は若干上昇しております。本数は横ばいなんです、一本当たりの単価が上昇する。これは税率が上昇ではなくて、高級嗜好だ。そういう考え方でございます。そこに一定税率といいますが、御案内のように百分の十八なものですから、若干本数は減っても単価が上がる。そういうことで六分の積算をしてございます。なにしろ、たばこの売り上げは観光客の入り込みの増減そういうことで落ち込むことも考えられますけれども、経験的に考えて伸ばしてございます。

○民生部長（鈴木 力君） 歳出の説明資料の九ページの耐震性井戸付貯水装置についてでございますが、来年度の事業が完了いたしますと給水能力はどのぐらいになるかというお尋ねでございますが、五十八年度の災害時の飲料水の確保事業が完了いたしますと、耐震性井戸付貯水装置が三基となりまして、災害用浄水機が十二台を保有することになるわけでございます。これらの装置を八時間運転いたしますと、耐震性井戸付貯水装置、それに浄水機によりまして二百立米の給水能力が見込まれます。

次に、説明資料の九ページ交通安全施設整備工事の防護さく、道路反射鏡、道路照明のそれぞれの予算額の内訳についてのお尋ねでございますが、五十八年度の工事といたしましては、防護さくにつきましては全部で三百三十メートルを予定しております。その予算額が三百三十万円、道路反射鏡につきましては四十四基の工事を予定しております。予算額にいたしまして四百九万二千円でございます。道路照明につきましては三基を予定しております。六十五万七千円でございます。

続きまして、一〇ページ四款衛生費の中の地質調査と道路舗装工事についてのお尋ねでございますけれども、地質調査につきましては昭和五十九年度に完成が予定されております清掃センターの移転に伴いまして、ごみ収集のための事務所、車庫等も移転をしなければならぬわけでございますので、その設計のための資料とするために清掃センター近辺のボーリング調査をしようとするものでございます。

それから、道路舗装工事につきましては、清掃センター前より現在建設中でございます館山市清掃事務所の入り口までの約五十メートル、幅六メートルをアスファルト舗装にしようとするものであります。

それから、説明資料の一九ページの中でございますが、市民センター内装改修工事についての内容でございますが、計画的にこの整備を進めております。五十八年度に行おうとする内装改修工事の内容といたしましては、事務所棟の各室通路の側壁それから天井について塗装がえを行うとともにブラスター——し

つくいでございますが、壁面の補修を実施いたします。ホールにつきましては舞台そでの壁等のブラスター、壁面の補修。固定席側壁の塗装及び移動席側壁格子部分の塗装がえを計画しておるわけでございます。工期といたしましては五十日分を予定しております。

続きまして、一九ページの防犯灯設置に対する補助金は少ないんではないかというお尋ねと、さらに防犯協力会補助金はどのように使われているかというお尋ねでございますが、防犯灯新設につきましては防犯協力会におきまして計画的に整備をしておるわけでございます。過去三カ年の実績から見ますと、一カ年平均七十七灯程度でございます。設置計画灯数につきましては防犯協力会で調整しておりますが、要望灯数に対してほとんど充足しております。また設置費を見ますと、最近東電の柱への共架方式がほとんどでありまして格安に設置されております。計画灯数補助率とも適当と考えております。

次に、防犯協力会補助金の使途でございますが、防犯思想の高揚を図る広報活動費及び春、夏、秋、年末年始、各地区祭礼時における警備、パトロール等の活動、防犯指導員二百二十三名の活動費として有効に使われております。昭和五十六年度の防犯協力会の決算を見ますと、総額四百三十三万七千円に對しまして、防犯灯新設補助が一八％、活動補助一八％でありまして、残る六四％は自主的な会費等により健全な運営が行われております。

それから、二六ページの敬老祝い金でございますが、五十八年度の祝い品の品目につきましては未定でございます。条例におきましては五千円以内ということでございます。昭和五十一年度か

う年度ごとに品物を変えましてお贈りしておりますが、大量購入というために一般市価より非常に安く購入されております。

次に、二九ページの九款消防費の關係でございますが、費用弁償の積算の対象としたそれぞれの見込み回数等についての御質問でございます。費用弁償につきましては、まず火災出動回数でございますが、放水という対象をいたしまして年間七十五台を見込んでおります。なお火災出動の中の放水をしなかった場合でございますが、これが年間延べ百五十五台を予定しております。それから火災警戒については一個部年間十六回、訓練回数については一個部四十五回を予定しております。技術整備点検につきましてはポンプ自動車、可搬ポンプの点検でございますけれども、年間一個部十二回、それから操法技術の回数でございますが、これにつきましては十八部富崎が五十八年度は県の操法大会に出場するということが予定されておりますので、その訓練のため六十回を予定をいたしております。

以上でございます。

○経済部長（山田俊康君） 説明資料の一四ページ観光振興事業補助金にかかりますテニスコートの種類は何か。管理はどこがあるのかという御質問でございますが、観光振興事業スポーツの里づくりとしてのテニスコートの造成でございますけれども、コートの種類はクレイコートを計画しております。この事業は市内の旅館、民宿業者をもつて組織いたします事業協同組合が完成後も引き続き管理運営にあたる予定でございます。

続きまして、二二ページの酪農振興事業に關連して、浄化槽の設置補助はできないかということでございますが、現在畜産用の

浄化槽は汚泥処理が非常に複雑、困難で、経費がかかり過ぎるんだということから実用化はされていないというふうに聞いております。当然実用化されておりませんので、補助金の対象にはなりません。

それから、し尿のたれ流しということでの御質疑でございますけれども、現在畜産農家は固形物につきましては乾燥させたりして堆肥にして耕地に還元しております。液状物、尿につきましてはそれぞれお持ちになっております草地だとか、畑地、飼料畑等にバキュームカーで運搬散布しているというような状況でございます。特に昭和五十四年、五十五年に市の農協畜産振興組合が実施しました対策事業の中でも堆肥舎、乾燥施設あるいはバキュームカー等も用意いたしましたので、それぞれ公害の起こらないようにという配慮がされておるわけでございます。

○教育長（安田豊作君） 一九ページの博物館施設整備事業についてであります。第一点の工事費については本館外構工事と植栽工事を予定しております。内容につきましては本館の囲りに池・擁壁、門扉、数石等を敷いて、植栽については主として芝植えを行いまして環境の整備を図っていきたいと考えております。

委託料については外構、植栽を含めた設計、管理委託料でございます。

本館施設整備備品の購入のうち、ハロン消火施設につきまして是不活性ガスを室内に充満させることによって展示、収蔵資料を損うことなく消火の目的を達成できるように消火施設でございます。

次に、薫蒸施設であります。収蔵する資料につきまして虫、

カビ等により汚染されておるのが多いのでありますが、収蔵する前に資料の消毒、滅菌等を行うものでございます。

次に、二四ページ市体育協会補助金についてでございますが、現在館山市体協には十九部の部が加盟いたしておりますが、補助金につきましては県民体育大会派遣費に二百三十六万八千円、各部普及費及び大会事業費として二百二十三万円、計四百五十九万八千円となっております。各部普及費につきましては各部の自主的活動に対する補助でございますが、体協の大会事業といたしましては館山湾寒中水泳大会、市民歩こう走ろう大会が予定されております。

次に、三三ページの若潮マラソン大会の規模ということで何人ぐらいまで可能だということでございますが、五十七年度の第三回大会の申し込みは二十五キロの部で九百五十六名、十キロの部で八百八十一名、計千八百三十七名でありました。第三回大会までの推移を見ますと、二十五キロの部に増加の傾向が見られますので、競技役員等の充実、交通規制等十分配慮すれば二十五キロの部で三千五百名程度、十キロの部で千五百名程度、計五千名程度までは可能だ。こういうふうに考えております。

○二〇番（石井武敏君） ただいま御答弁いただきましたとおおむね理解をするものでございますが、なおもう一步詳しく説明をしてほしいというところに関しまして再質問いたします。

市民税、固定資産税、軽自動車税のおの前年から比較して徴収率が下がっているというその理由については承りました。徴収はいわゆる徴収する職員の数が深いかかわり合いがあるのではないかというふうに考えまして御質問するわけでございますが

この前年度対比で徴収に關係する必要な職員の数の変動についてどうでしょうか、差がありますか。また市の職員の徴収量は件数で表現できれば何件ぐらいを掌握できるのか、あるいは金額に換算してそれがどのようにとらえられるかわかりませんが、件数が金額か、パーセントかそのへんはわかりませんが、どの程度まで割り出せるのか、答えられたらお答えいただきたい。といいますのは徴収する職員が少ないんではないかという観点に立って質問をしているわけでございますので、お答え願いたいというふうに考えます。

それから、徴収できなかった部分に対してこれは滞納繰越分となつて毎年あらわれてきております。滞納繰越分がいよいよ保ちきれなくなるある一つの限界がきますと滞納処分をする規定があると思います。滞納処分をせざるを得ない状況について、どういう状況のときに滞納処分をしているのか、説明を願いたいと思います。

それからもう一点、雑収入の中に滞納処分費として千円ですか載っております。徴収率のダウンあるいは社会情勢を考えますとこれからますます滞納処分をするケースがふえてくるんじゃないか、そういうふうに想像されます。これはあくまでも想像でございますが、それと雑入の中に滞納処分費があまり載っていませんこれとの關係を少し明らかにしていただきたいというふうに考えます。

それから、歳出につきまして、災害のときの耐震性井戸でございますが、説明でよく理解できましたが、本年度のこの事業を行うと、館山市に災害が起こっても、地震が起こっても水不足はな

い。そういうようにいまの説明では考えられます。そこで、この井戸の管理とか、衛生上の問題についてお尋ねしたいんですが、管理とか、あるいは衛生の面で問題はないか、あるいはどういうふうに考えておたいらいいのか、そのへんを少し明らかにしておいていただきたい。

また、水が用意できましたので、災害のときに必要なのは水と食糧でございます。当然食糧の問題が出てきますが、関連としてお尋ねいたします。考えがあれば答えていただければ結構ですが、保存食品について何か考えておられますか、お尋ねをします。

次に、道路照明についてでございます。道路照明につきましてはどこに何基つけるかというものが明らかになってきましたが、私は道路照明と防犯灯の照明、質問としては二つに分かれましたが、共通している問題がありますので、共通して御質問するんですが、防犯灯は防犯灯の明るさの基準というものがあるんですが、道路照明は道路照明として明るさの基準があるんじゃないか、最低ルクスがあるんじゃないか、それに比較しますと非常に暗いんではないかというふうにいつも考えておるので、お答え願いたいんですが、そういう基準に照らしまして現在市で設置しております防犯灯あるいは道路照明のルクスと対比しますとどうなりますか、お答え願いたいと思います。

また、防犯灯に關しましては非常に格安につくっておられるということはいまの説明でよくわかりました。しかし安くつくっても暗くては何にもならないわけでございます。明るさが不足しては安くつくっても何にもならないと思います。

そこで、現在つけられている防犯灯は道路に対して螢光灯であ

れば直角ではないかというように思いますが、それを道路に対して平行に設置していくように改善していけば、広い道路がより明るくなるのではないかとというように考えられます。こうした設置をするときの構造についてひとつ研究をさせていただきたい。これはお答えにならなくても結構でございますので、設置に際しての構造を研究していただきたいというように要望しておきます。

次に、テニスコートについてでございますが、私の質問に関しましては非常に具体的にお答え願ひましてよく理解できました。このテニスコートを設置してこの事業を行っていく現実の時期の問題についてわかる範囲でお答え願ひたいと思いますが、大体的な設計に取りかかって建設をして、いつ頃組合の手に渡って実際に使用される計画であるか。そのへんのこれからの予定の計画があればお答え願ひたいというように思います。といいますのは、この事業に対して私も大変細光の面でも当市にとってプラスになるであろうというように期待をしておりますので、なおかつ御質問する次第でございますのでお願いいたします。

それから、畜産し尿の浄化槽につきまして、浄化槽につきましては実用化されていないというお答えでございます。では、浄化槽はないのかという質問が出てくるんですが、館山市の畜産は浄化槽はほとんど使っていないというように考えていいんでしょうか、全部の農家がバキュームカーでくみ取って散布しているというように感じを受けます。私が考えるには大きな事業を——同じ組合に入って参加している人には公害防止の考え方からいろんな施策から守られてそのようになさっているかもわかりませんが、まだそこまでの設備ができない酪農家もいるのではないかと考えられ

ますが、答弁によりますと、ほとんどもう河川には流さない、とにかく全部散布しているんだというような答弁ですが、御答弁どおりに受け取ってよろしゅうございませうか。いわゆる酪農家の実態として受け取っていいでしょうか、お答え願ひたいというふうに思います。

消防関係でございますが、私が御質問申し上げました回数につきまして、それぞれにつきましてよく理解できました。一たん事があり、災害が起こるとこれだけの大量の出勤がなされるということもよくわかりました。

そこで、これは関連でございますが、たとえば火災が起こる、どっかに火事があるとなると、だれもが、どこで、どのくらいの規模で起こっているというのを知りたいものでございます。そこで一斉に消防署なり、関係するところに電話で問い合わせるわけでございますが、そういうものが非常にこみあって何ら掌握できない状態が多いんです。こうした場合、火災のテレフォンサービスのように火災の場所とか、規模がわかる範囲で知らせてあげられるようなそうしたサービスができないか。たとえば状況をテープにとって、電話をすればすぐ電話が通じ答えて、どこに火事があったということがわかる、どのくらいの規模で起こっているということがわかるというようなものがあれば非常にプラスになるのではないかと。逆に言えばやじ馬がたかってくることになるかもしれません。私たちの立場から考えると、どうしても早くいろんなことを知りたいという面もあるわけです。当局の考え方をひとつここでお述べいただきたい。このように思います。

再質問の最後でございますが、若潮マラソンに関しまして目指

すところ、当局の考え方理解できました。

そこで、私はマラソンとは直接関係はないんですが、趣旨としてここにうたってございます市民の健康づくりという観点から、これは関連で御質問するわけでございますが、最近ジョギングが非常にはやってきております。マラソンではございませんが、非常に気軽に自分の健康を守るためにやるジョギングコースというものを選びちゃんと定めて市民に奨励していくような形、こういうことが時代に合っているのではないかと。こうしたジョギングコースにつきまして考え方があったら、ひとつお話しただきたいと思えます。再質問ですが、以上です。

○総務部長（鶴岡卓樹君） 徴収率と職員の数との問いにお答え申し上げます。本年の滞納の件数と前年の見込みを比較しますと、件数ですと当市の場合は伸び率は二〇％を超えまして二二・三％になるかと思われれます。それと金額につきましては若干ほかの市と比較してございますので御参考までに申し上げますと、繰越額と職員数で単純平均といえますか、割ってみますと、当市の場合は一千万ちょっと、多い市になりますと六千万を超えます。そういう実態がございいます。確かに当市の場合は件数はふえますけれども、税額で見ますと、ほかの市とも大変な実態が浮かび上がってきます。

それと、繰り越しあるいはどうしても徴収できない不可能の場合の処分はどうかと、お尋ねでございますが、御案内のように地方税法で定めております不納欠損措置ができます。当市のいままでの実績を見ますと、その場合の法的な措置は財産がないと、生活困窮のケースと、転出等で所在不明のケースでございいます。

それと、雑入に千円の前上のお話がございましたが、とりあえず不確定要素のもので千円の前上を計上してございますが実際には公売の処分をした場合に入ります。たとえば不動産鑑定料ですとか、そういうものもろの経費が、当市が支出しました経費が歳入として入る科目でございいます。

○民生部長（鈴木 力君） まず、耐震性戸付貯水装置の平素の衛生上の管理の問題でございいますが、浄化装置によりましてろ過浄化されました水というものは貯留槽に蓄えられるわけでございますが、これにつきましては定期的に元に戻しましてまたろ過、浄化する。こういうことを絶えず何べんか行方というようなことで、緊急の場合におきましてはいつでも飲料水として適当な水を供給できる。こういう装置でございいます。

それから、緊急時の保存食品の備蓄の問題でございすけれども、これにつきましては現在備蓄を考えておらないわけでございますが、市内におきます各食糧品を扱っていらっしゃいます卸売あるいは大規模な小売店ですか、こういうようなところと契約的に緊急の場合には非常食糧というものを供給していただくようなことで現在も折衝しているわけでございす。そういうことでございすので、現在におきましては市が直接保存食を備蓄するということとは考えていないわけでございす。

それから、道路照明、防犯灯の明るさの基準というお尋ねでございますけれども、この照明につきましては建設省におきまして道路照明施設設置基準としていろいろ道路部分それから道路沿道の光の状態によりまして基準の光というものが定められておるわけでございまして、その内容につきましては、道路法の道路につ

きまして道路管理者が道路照明を設置するということで、その場合におきましてのいろいろ明るさ、カンデラの光度の基準があるわけでございます。道路照明につきましても明るいから交通安全が確保されるということでもないわけでございまして、これにつきましましては非常にむずかしいわけでございまして、いろいろ検討、研究をしてみたいと思います。

防犯灯と道路照明の比較につきましては設置の趣旨が違うわけでございますので、その比較というのはちょっとむずかしいわけでございます。

それから、火災テレフォンサービスでございますけれども、これにつきましては現在考えていなかったわけでございます。火災を早く市民に知らせると、こういうことからの発想だと思うわけでございます。現在、防災対策で同報無線等による防災広報の方式をいろいろ検討しておりますので、この検討の中であわせてこれらもさらに考えてみたいというふうに考えております。

○経済部長（山田俊康君） テニスコートのオープンの時期までの予定ということでございますけれども、オープンの時期は現在考えておりますのは五十九年の三月初め、できれば二月末には完成して三月初めからオープンしたい。事業を実施いたしますのは、先ほどこちと申し上げましたように民宿、旅館の事業協同組合が事業を実施する。事業協同組合の設立は四月早々に行いまして現在予定しております山本の農地等でございますので、その稲作が今年八月に終わりますので、最も早く九月から着工して五十九年二月末完成、三月初めオープンというように経過を進みたいというふうに考えております。

それから、畜産し尿の関係でございますけれども、現在市内で浄化槽を使っているものはないかということでございますが、浄化槽は先ほど申し上げましたように畜産関係の浄化槽汚泥処理が非常に困難でということであるという聞いておりますけれども、現状としてはないというふうに理解しております。

それから、酪農家の全部が公害のないように措置しているのかどうか、先ほどの振興組合等に全員が加盟しているわけではないんじゃないかという御指摘でございます。確かにそのとおりでございますけれども、私どもの方で頭数で申しますと三十頭以上飼育していて市の畜産振興組合に加盟しなかった農家というのは六戸でございます。その六戸の実情を調査いたしますと、それぞれ古い形のバキュームカーを用意したり、お互いに利用し合ったりしながら草地あるいは飼料畑等に尿等は運搬しているのが実情でございます。ただ、確かに御指摘のように全部の酪農家ということでは考えました場合に五頭、六頭飼っている農家の中で、そういうことが絶無かどうかと言われますと、いままでの私どもが収集しております情報の中ではそういったものはございませんけれども、今後なお公害発生のないように指導を強化してまいりたい。このように考えております。

○教育長（安田豊作君） マラソン大会に関連して、市民ジョギングコースを設定できないか、こういうことでございますが、実は二つ現在設定してあるというようにすることに私どもは考えておるんですが、一つは中央公園を基点といたしまして各方面への距離を測定してあそこ図があるわけで、身近なコースで自主的にひとつ練習してくだされと、隣には第一週にはどのぐらい、第二週に

はどのぐらいというような段階も書いてある。方法としてそういうものも書いてあります。たとえば中央公園から自衛隊まで三・七キロとか、あるいは旧東小学校まで七・七キロとか、那古方面に行きまして岩崎橋四・九キロとかいうように各方面への距離が、またその途中にも距離が表示してあります。

もう一つは、これは一番多く使っているようですが、海岸通りを自衛隊から船形港まで市民運動場を中心に五百メートルごとに電柱にウサギとカメの表示がしてあります。五百メートルごとに何キロというような表示をして市民のジョギングの目安にするようにしておりますが、これは実は昭和五十年に設置しましたけれども、なかなか利用されない。今後さらにPRして利用していただくようにしていきたい。こう思っております。

○二〇番(石井武敏君) ただいまのジョギングコースにつきましては市民がわかるように表示をつけて、市民に定着させるように御努力をお願いしたいと思います。また親しみやすいコースの名前をつけるのもいいでしょうし、まずは、そういうところがジョギングコースになっているんだということがわかるような表示をお願いしたいというように要望いたします。

それから、災害のときの耐震性の井戸につきまして、管理の面で定期的な検査を行うという御答弁返ってきました。これは年に一回行うとか回数決まっておりますか、もう少し説明を加えていただきたい。

それから、いざというときの保存食品に関して、これに関してはもう一歩きちんと取り組んで、これからの災害に対処をしていただきたいというように要望を申し上げます。

それから、防犯灯と道路照明のルクスの問題、明るさの問題これはぜひ改善をしていただきたいというように要望します。非常に暗いと思います。いまの防犯灯や、道路照明ではなにも明るいばかりが役割りではないというように、そういうような答弁が返ってきたように思いますが、これは基準以上に明るくなければ用をなさないと思いますので、ルクスの改善、照明度の改善をひとつお願いしたい。要望します。

それから、博物館にしまして質問をしました工事業でござえますが、この中には薫蒸事業とハロン消火施設、これは博物館の展示してあるものを安全に保管する上で非常に大事であると思いますので、このハロン消火施設と薫蒸施設は予算的に金額は幾らになっておりますか、御説明を加えていただきたいというように思います。

以上で、質問を終わります。

○教育長(安田豊作君) 予算をということですが、金額については今後の購入、入札に関連しますので、正確な額は控えさせていただきますか、重要部分と考えております。

現在、ハロン消火器を採用しておる博物館は、千葉県で言えば、国立歴史民俗博物館せんだって十三日に開館した博物館と、県立美術館、市川市の歴史博物館、九十九里イワシ博物館と四つぐらいに設置されておる。さらに薫蒸施設についても博物館の上で非常に大事なものですけれども、いま備えようとする設備については歴史民俗博物館と県立の大利根博物館、県立の総南博物館、流山の郷土資料館この程度のようにございます。まだ全部の博物館

に設置されているというようなものでもない。かなり貴重なものだ。こういうふうに御承知いただきたいと思います。

○民生部長（鈴木 力君） 現在、設置されております二カ所の耐震性井戸貯水装置の定期点検の回数でございしますが、月に一回実施をいたしております。

○議長（林 豊君） 以上で、二〇番議員君の質疑を終わります。他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

予算審査特別委員会の設置、付託、委員の選任

○議長（林 豊君） お諮りいたします。

ただいま議題となっております昭和五十八年度各会計予算につきましましては、十人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上審査することにいたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

重ねてお諮りいたします。

ただいま設置されました予算審査特別委員会委員の選任につきましては、委員会条例第四条第一項の規定により、

四番議員	横溝	功君	七番議員	古賀礼四郎君
八番議員	石井	昌治君	九番議員	松下 正己君
一二番議員	栗原	一雄君	二〇番議員	石井 武敏君
二二番議員	藤田	益治君	二四番議員	和田 一郎君

二七番議員 石井 正君 三〇番議員 山口 康君
以上、十人を指名いたしましたと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました十人の諸君を予算審査特別委員会委員に選任いたします。

ただいま選任されました予算審査特別委員会委員の方々は、のちほどこの議場において正、副委員長長の互選を行いますので御了承願います。

会議日程の変更

○議長（林 豊君） この際、会議日程についてお諮りいたします。明十六日の会議日程は、本日に引き続き昭和五十八年度各会計予算の審議となっておりますが、本日特別委員会に付託されましたので、明十六日は休会といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、明十六日の会議日程は変更され、休会と決定されました。

延 会 午前十一時三十八分延会

○議長（林 豊君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明十六日から二十五日まで委員会での議案審査のため休会、次会は三月二十六日午前十時開会といたします。

その議事は、議案第三号ないし議案第二十三号等にかかわる各委員会における審査の経過並びに結果の報告、討論、採決及び追加議案の審議といたします。

○今日の会議に付した事件

一、議案第三号ないし議案第十号

二、予算審査特別委員会の設置、付託、委員の選任

三、会議日程の変更

